

広報とうかい
人・自然・文化が響き合うまち

Tokai

January [No.743]

1・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2007年[平成19年]

Contents [1月の主な話題]

- 平成19年新春座談会…………… 2
健康で生きがいのあるまちづくり
～生き生きと自分らしく暮らしていくために～
- 新しい村立東海病院…………… 7
インフルエンザの知識
- 東海村の貴重な文化財を紹介します…………… 9
- ず～むあっぷ「まちの風景」……………10
- 青少年育成体験記(PART.82)―[須和間鈴木朝美さん……………12
「母と子のサロン」にかかわって
- 今どきの青少年(VOL.92)―[石神外宿]照沼拓也さん……………13
これまでを振り返ってみて
- STATION GALLERY……………14
- 図書館トピックス……………15
- いんふおめーしょん……………16
- 成人の日記念インタビュー……………20
[須和間]大日向沙友里さん



健康で生きがいのあるまちづくり ～生き生きと自分らしく暮らしていくために～



長寿大国、日本——。「人生80年」といわれていますが、私たちはその間に、進学や就職、結婚、子育てなどを経ながら、やがて訪れる老後へ向けて時を進めています。高齢者が高齢者を支えていく高齢社会を迎えた今、誰もが住み慣れた地域で元気に暮らしていきたいと願っているのではないのでしょうか。そこで、日ごろから高齢者の福祉にかかわる方々をお迎えし、司会進行役には、緑ヶ丘区自治会長として、住みよいまちづくりに取り組んでいる笠原武士さんを招いて、「健康で生きがいのあるまちづくり～生き生きと自分らしく暮らしていくために～」をテーマに、座談会を開催しました。

高齢者が社会参加できるまちづくり

笠原(司会) 明けましておめでとございます。本日の司会を務める笠原武士です。私は、緑ヶ丘区自治会長として、地域住民の連帯感を培い、地域の課題を自ら解決できるまちづくりに取り組んでいます。今年も、地域の皆さんと協力して、住みやすいまちづくりに努めたいと思います。それでは、本年の「新春座談会」にご出席いただいた皆さんに、自己紹介を兼ねて新年の抱負をお聞かせいただきたいと思えます。
村長 明けましておめでとございます。早いもので、平成9年に村長に就任して以来、今年で10年目を迎えました。当初は、まだまだ体力もあつたのですが、最近は衰えを感じるようになりました。特に足ですね。そういう点では、身をもって実感しています。かつて日本では、高齢者の介護は家族の問題だととらえられていましたが、平成12年から、介護を社会全体で支えるしくみである介護保険制度が施行されたことで、大きな変化を遂げました。平成18年には、介護予防に力を入れていこうと、介護保険制度が改正されたことに伴い、村では、地域包括支援センターを立ち上げて取り組みを進めています。また、地域コミュニティの強化を図るため、自治会を中心として地区委員会などもつくりました。地区委員会の中には、福祉分野として、社会福祉協議会が地区社会福祉協議会を立ち上げるために、小学校区社会福祉協議会設置検討会をスタートさせるなど、高齢者が社会参加で

き、生きがいを感じることができると思っています。東海村は、ボランティア活動などさまざまな場面で活躍している高齢者が多く、とても生き生きしていますね。しかし、人間なので、体力が落ちてくることも事実です。その際に、高齢者も地域を支えることができるような元気な社会をつくる必要があると思います。

藤田 平成18年に設置された地域包括支援センターで主任介護支援専門員をしている藤田朋子です。地域包括支援センターとは、高齢者が住み慣れた地域で、尊厳のある、その人らしい生活を継続することができるよう、介護予防対策をはじめ、地域の保健・福祉・医療のさまざまな方面から総合的に支援しているセンターです。今年も、誰もが安心して相談できるだけでなく、その相談にきめ細かに対応できる支援体制づくりに努めたいと思っています。

上条 東海村シルバリーハビリティ体操指導士会の会長をしている上条八洲江です。この体操は、高齢者が健康で若々しく、生き生きとした生活を送るための介護予防を兼ねた体操です。私たちは、生きがいデイサービスや各自治会の研修会等での指導を通して、普及活動に努めています。今年も、より一層の普及を目指し、充実した実践活動を行っていききたいと思っています。
井上 東海村健康づくり推進計画推進委員会の委員長をしている井上義明です。この委員会は、一人一人が自らの健康状態を自覚すること、健康への意識を高めてもらい、健康づくりの取り組みを手助けする委員会です。平成16年

新春座談会出席者紹介



上条 八洲江

東海村シルバーリハビリ体操指導士会会長。高齢者の健康づくりや介護予防を目的に、体操の指導・普及活動を実施。



村上 達也

東海村長。平成9年の就任以来、3期10年目。平成13年から、茨城県一の福祉のまちを目指し、さまざまな取り組みを実施。



井上 義明

東海村健康づくり推進計画推進委員会委員長。スローガン「自分の健康は自分でつくる」を掲げ、健康寿命を延ばすために活動中。



藤田 朋子

東海村地域包括支援センター職員。主任介護支援専門員として、保健・福祉・医療の面から、高齢者を総合的に支援。



森 玲子

東海村在宅介護者の会会員。在宅介護者が、肩の力を抜いて、楽しみながら介護することができるよう、支援活動を実施。



笠原 武士(司会)

緑ヶ丘区自治会長。1期2年目。地区委員会の立ち上げに携わるなど、ふれあいのあるまちづくりに取り組む。

には、「健康づくり推進計画(すこやかチャレンジプラン)」を策定し、現在は、その推進に努めています。今年も、皆さんの健康づくりの役に立てるよう、地道に活動していこうと思います。
森 東海村在宅介護者の会の森玲子です。私は、夫の介護をしています。2人とも敬老の日に、お祝いをいただくような年齢なので、老老介護の見本のような存在ではないかと思っています。私たちが1人で悩まず、肩の力を抜いて介護ができるように支え合うことを目的に活動しています。介護は、大変だと思ってしまうと苦になります。介護発想の転換をすることで、改善していく喜びを

感じることもできるのではないかと思います。今年も、心に余裕を持ち、笑顔で楽しく介護ができる1年にしたいと考えています。

高齢社会を迎えて

笠原 ありがとうございます。近年は、ライフスタイルの変化により、個人の価値観の多様化や社会進出をする女性が増えたことなどから、晩婚による出産の高齢化や生涯出生率の低下が進み、少子高齢化が問題視されています。これは、高い出生率を誇る東海村も例外ではなく、高齢者が高齢者を支える高齢社会を迎える中、村上村長は、今後どのようにしたら良いと
 お考えですか。
村長 国としては、国力や経済力の問題という観点から少子高齢化問題について論じていますが、地域社会という身近な生活の場を考えた場合には、高齢社会は、人に対して優しい、心遣いのある、とても住みやすい社会になるのではないのでしょうか。そのためには、高齢者になっても元気であることが必要ですから、リハビリ体操は効果的ですね。歩けなかった人が歩けるようになったという話も聞きますし、継続的・計画的にトレーニングをすれば、必ず筋力も体力も、あるいは内臓も改善するという研究も進んできているようです。また、健康づくり



楽しく仲間づくりをする
生きがいデイサービス

推進計画推進委員会では、村民が主体となって健康づくりの指導などをしていこうという意識ができていますし、村内には90以上のボランティア団体が自主的に活動していますので、素晴らしい地域社会ができつつあると感じています。今後ますます発展していくのだろうと思いますが、一

方で、行政がボランティア団体から見放されないかと心配になることもありますので、住民の皆さんが、自分たちの活動を広めるために行政を巻き込んでいく、行政は、住民の皆さんの考えを取り入れていくというように、行政と住民の良い関係をつくっていきたいと思います。

笠原 ありがとうございます。村上村長から、行政が見放されないか心配であるという話がありました。私も自治会として、何か手を打たなければならぬと思っています。ほとんどの方は、問題が自分の身に直接降りかからないとなかなか行動に移すことがないと思いますが、自治会の役員だけではなく、新たな人材を発掘し、住みよいまちをつくるために協力をお願いしたいと思っています。私が先に意見を述べてしまいましたが、皆さんが日ごろの活動を通して感じていることなどをお聞かせください。

井上 東海村の平均寿命は、県内でもトップクラスです。ただし、私たちが目指しているのは、健康寿命を延ばす、つまり、誰もが自立して健

康に過ごすことができる期間を長く延ばすことです。そのために、私たちは、「自分の健康は自分でつくる」というスローガンを掲げ、誰もが気軽に始めることができるウォーキングを推奨しています。村には、県から指定を受けたヘルスロードとして、AコースからDコースまでの4コースで構成される総合福祉センター周回ヘルスロードのほか、原子力エネルギーコースや芸術鑑賞コースがあります。保健センターにコースマップがありますので、ぜひ利用してください。

上条 私たちも、「自分の健康は自分で守る」をモットーに活動していますが、東海村の行政はとても協力的だと感じています。先日、守谷市から視察団が来たときには、設備の素晴らしさや、ボランティアの方々の意気込みに感銘を受けたようです。私は日ごろから、このような恵まれた村に住むことができる喜びを感じていますし、高齢者がボランティアの方々に支えられて生活できることは、幸せだと思っております。私たちが温かい気持ちで介護をすることで、高齢者が希望を持って生きることができるといふことは、うれしいことですよね。

森 そうですね。介護する側としては、地域包括支援センターができたことを大変うれしく思っています。介護は個人的な問題なのですが、介護する方の立場や悩みを理解し、共通の問題として取り上げてもらえる充実した地域包括支援センターになることを願っています。

藤田 介護予防マネジメントも、地域包括支援センターの業務の一つです。現在は、要支援認

定以前に村の健康診断を受けた高齢者で、要介護予備軍に該当する方を対象に、介護予防事業を実施しています。地域包括支援センターが設置され、介護予防のしくみができたことで、栄養改善や口腔機能の改善が見られる方もいますので、とても良かったと思います。また、地域包括支援センターは、総合相談も担っており、民生委員の方や各事業所のケアマネジャーなどからも相談を受けています。今後も、相談者への対応を的確に、迅速にできるように相談援助能力の向上にも努めていきたいと思っています。

笠原 地域包括支援センターへの期待は大きいですね。さて、先ほど上条さんから、東海村の設備は充実しているというお話がありました。村上村長はどのようにお考えですか。

村長 実は、昨年の10月、山口県山口市にあるデイケアセンター「夢のみずうみ村」へ視察に行ってきたのですが、建物は手づくりで、いすやテーブルなど全部が中古品でした。中古品を自分たちに合うように改造しているため、建物全体の雰囲気は本場に優しいのです。工夫をすることが生きる力を身に付けることにもつながるのだと思いますので、東海村でも設備や道具はすべて新品でなければならぬという考え方は、改めていきたいと思っています。また、そこでは、バランスを保つために、できるだけ



地域の高齢者と子どもたちとの
交流を深める「お年寄りとの交流会」

自分の足で立つようにしているようで、基本的に車いすは使わず、手すりは階段にだけ設置してあるという、非常に独創的な施設でしたね。

笠原 そうですか。できるだけ自分の足で立つということですが、最近、健康体操教室などは、男性の参加者も増えているようですね。

上条 そうなのです。その中でも、**生きがい** デイサービスは人気があるようで、すべてのコミュニティセンターを回っている男性も多くなります。そのほかの教室でも、男性の参加者が増えており、良い傾向だと思えます。健康づくりのために、自分の体力に合った講座を選んで実践することをお勧めします。

生き生きと自分らしく生活するために

笠原 そうですね。高齢者が元気に生活しているためには、一人一人の身体的な健康はもちろん、家族や地域ぐるみの支え合いが必要だと思えますが、さらに充実した生活を送るためには、生きがいを持つことも大切だと思えます。そこで、いつまでも自分らしく生き生きと生活することが出来るまちをつくるために、自分の役割をどう位置付けるのかなどについてお聞かせください。

藤田 私は、生活上で何らかの問題を抱えている方の悩みを解決し、周囲の環境を整えることで、その人らしい生活を見付けながら丁寧にケアプランを立てようと心掛けています。ケアプランを立てる際には、どのような1年後を迎えたいのかということをお聞きするのですが、答えられない方が多いのが現実です。しかし、一

人一人の残された機能を十分に生かし、何が出来るのか、また、どのようにすれば出来るようになるのかなどを会話の中から見付けていきます。支援するには、介護保険サービスだけでなく、家族や地域の支援も必要な場合もあります。家族や地域の障がいがあるために閉じこもりがちの方々が生きる希望を見だし、生き生きと生活できるように支援することが、私の役割なのだと思います。

森 介護されている方は、ケアマネジャーの方やヘルパーの方などが面倒を見てくれるため、ある程度の生活ができています。しかし、介護をしている方の健康などに対するケアがほとんどないため、行き場がなく、埋もれてしまうことがあります。年に2回、介護をしている方を対象とした研修を兼ねた交流会が行われていますが、介護している方の負担が軽減することが介護されている方の幸せにもつながりますので、もう少し援助の手を伸ばしてほしいと思います。また、介護をしている方は、介護されている方の急な発熱などの緊急事態に対応しなければならず、会の役員となつて運営に携わることが困難ですので、介護経験のある方に協力してもらえるとありがたいです。私たちの会は、高齢者を対象にしていますが、今後は、障がいのある子どもを介護している方なども一緒に活動していこうと呼び掛けていきたいと考えています。

上条 高齢になると、足腰が弱ってきますよね。自分の2本の足で立ち、身の回りのことができ

ることは、本当に幸せなことだと感じています。そのためには、筋力や体力を付けることが大切です。日ごろの運動の積み重ねにより、寝たきりの高齢者も少なくなると思えます。私たちは、皆さんの健康や介護予防の役に立つために、活動を続けていきます。

井上 地域の状況を踏まえ、地域に合った方法で福祉を進めるために地区社会福祉協議会を立ち上げようと、小学校区社会福祉協議会設置検討会がスタートしましたが、私は、いずれ誰かの世話になるときは、身近な人をお願いしたいと考えています。私と同じように考えている方も多いと思いますので、組織化準備委員会のメンバーの一人として、地域ぐるみの支え合いができるまちをつくりたいと考えています。また、気軽に声を掛けたり、笑顔であいさつしたりできる雰囲気や、ふれあいの場がほしいですね。田舎育ちの私は、よく近所の方々と縁側に腰掛けて、お茶を飲みながら世間話をしていました。そのときの皆さんの表情は、とても生き生きしていました。人と会って話をするのも生きがいの一つです。ので、ふれあいのあるまちをつくりたいと思います。

笠原 井上さんから地区社会福祉協議会の話が出ましたが、私も、地区委員会の組織づくりに携わっています。もうすぐ、「団塊の世代」と呼ばれる方々が地域社会に参画し



ウォーキングを楽しむ総合福祉センター一周ヘルスロード

用語説明

(※1) 地域包括支援センター…

地域支援の中核拠点として、平成18年4月に役場行政棟2階に設置。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が中心となり、高齢者や家族を総合的に支援。平成19年度には、新たに地域生活支援センター等とともに、現在改修中の旧東海病院跡地で開所し、身体・知的・精神の3障害を含めた支援を実施する予定。

(※2) 地区委員会…

6本柱で構成される東海村第4次総合計画とうかい21世紀プランに沿って、各小学校区単位に設置された安全・安心、福祉、教育、農業・工業・商業、建設・環境、企画・総務の6部会と自治会長で構成される組織。あくまでも任意の団体だが、自治組織として将来の学区自治会の基礎となる。

(※3) 地区社会福祉協議会…

地域内の福祉的課題を解決するための活動を推進する住民の自主的な組織で、福祉コミュニティの中心的役割を果たす。各小学校区単位での組織化を図り、地域の見守り活動などきめ細かな支援を目指す。現在、小学校区社会福祉協議会設置検討会を設置し、協議中。地区委員会の福祉分野を担う。

(※4) 主任介護支援専門員…

ケアプランの作成だけでなく、民生委員や介護保険施設など多職種との連携、利用者やその家族との関係などで悩みを抱えた現場の介護支援専門員への指導・助言も行う。

(※5) 東海村健康づくり推進計画推進委員会…

一人一人が、自分の健康状態を自覚することによって、健康の増進に努める体制づくりを図るために設置された委員会。

(※6) 健康づくり推進計画(すこやかチャレンジプラン)…

東海村第4次総合計画とうかい21世紀プランの保健分野別計画の一環として策定された、村民により身近で長期的・継続的な健康づくり計画。

(※7) ヘルスロード…

健康づくりのため、ウォーキングの推進を図るとともに、子どもからお年寄りまで、また障がいを持つ方も安全に歩くことができるウォーキングコース。県が指定。

(※8) 生きがいデイサービス…

地域包括支援センター主催事業。村内在住の65歳以上の方を対象に、健康体操などを行うサービス。毎月、各コミュニティセンターや集会所で開催。

住民の皆さんに期待すること

てきますので、今、地区委員会を立ち上げているのは、非常に良いタイミングだと感じています。今後は、その方々の力を借りて、世代を超えた交流ができるような活動をしていきたいと考えています。また、集会所は間もなく各自治会が管理する施設となります。その際は、集会所に行けば誰かとお茶を飲みながら話すことができるなど、気軽に利用できる場所にしたいたと考えています。年を取ると外出するのも大変ですが、家から10分程度歩けば行ける施設が集会所ですからね。

村長 そうですね。

笠原 では、これまでの話を受けて、皆さんに何を期待するのか、皆さんの活躍をどのような形で各種施策に反映させるのかなどについて、村上村長にお聞かせいただきたいと思っています。

村長 森さんからお話がありました。介護をしている方々の交流会も非常に大事なことのよう気がしますね。介護している人の負担を軽減することが、介護される人の幸せにもつながってくるのだと思います。それから、上条さんから、「東海村に住めて良かった」という大

変うれしい言葉をいただきましたが、筋力づくりや体力づくりについては、あまり事業を整理しない方がよいのではないかと感じています。いろいろなサークル活動や施策を行っていいば、いつでも気軽に参加することができますからね。そして、ふれあいのある環境づくりですが、笠原さんや井上さんから提案があったように、集会所などの施設が、誰もが気楽に集まることが出来る場として利用できるようなこと良いと思います。生涯学習のプログラムを豊かにする、農業などを通して生きがいづくりをするということはすぐに思い浮かびますが、生きがいづくりは多様なやり方があると思いますので、今後もどんどん提案してください。また、高齢者が子どもたちに人生経験を伝えていくことで、地域や家庭での教育をサポートしていくことも大切ではないかと感じています。自分たちだけが健康でいるだけではなく、社会の健康や子どもの健康、精神の健康にもお力添えをいただければ、自然に生きがいも出てくるのではないかと思います。

笠原 ありがとうございます。では、地域包括支援センターの今後の展望について、藤田さんにお聞かせいただきたいのですが…。

藤田 地域包括支援センターが期待されていることが良く分かりました。今後は、地区社会福祉協議会や自治会など関連機関と密に連携を取りながら、「支えあいながら自分らしく暮らせるまち」を実現するために、どのような支援が必要であるかを幅広く把握し、支援していかうと思っています。地域包括支援センターでは、どんな相談でも受け付けますので、お気軽にご利用ください。また、皆さんの意見を参考に、今後も頑張っていきたいと思っています。

笠原 よろしくお願います。では、最後に村上村長から、今回のテーマについて一言でまとめていただけないでしょうか。

村長 高齢時代という、負担が掛かる、暗くなるというイメージがありますが、反対に、私は成熟した優しい社会、豊かな社会になるだろうと思いますし、そのような社会をつくらなければならぬと考えています。また、行政としても、高齢者が持っているパワーをどう生かすのかを考える大事な時期にありますので、今後しっかりと取り組んでいこうと思います。

全員 本日は、皆さんから本当にいいお話を聞くことができました。ありがとうございます。



新しい村立東海病院

●インフルエンザの知識●

＜流行期間は12月から翌年3月＞

【インフルエンザと風邪の違い】

	インフルエンザ	風邪
初期症状	発熱、悪寒、頭痛	くしゃみ、鼻乾燥感
主な症状	発熱、筋肉痛、関節痛	鼻汁、鼻閉
悪寒	高度	軽度
熱および熱型	38～40℃ (3～4日間)	ないか、もしくは微熱
全身痛、関節痛等	高度	ない
倦怠感	高度	ほとんどない
鼻汁、鼻閉	後期から著しい	初期から著しい
合併症	気管支炎、インフルエンザ肺炎、細菌性脳炎脳症	ほとんどない

インフルエンザと通常の風邪(普通感冒)との違いは、風邪はのどや鼻に症状が現れますが、インフルエンザは急に38度から40度の高熱が出るのが特徴です。さらに、倦怠感・筋肉痛・関節痛などの全身症状も強く、激しい症状は通常5日間程度続きます。流行的に発生し、時には死に至るほど重症化することがあります。乳幼児はインフルエンザ脳炎・脳症を、高齢者は肺炎の合併を引き起こすことがあり、高齢者にとって「最期の生命のともし火を消す疾患」ともいわれています。

【日常生活でできる予防方法】

①栄養と休養を十分取る ②人込みを避ける
③適切な温度・湿度を保つ ④外出後の手洗いとうがいの励行 ⑤マスクを着用する ⑥予防接種を受ける

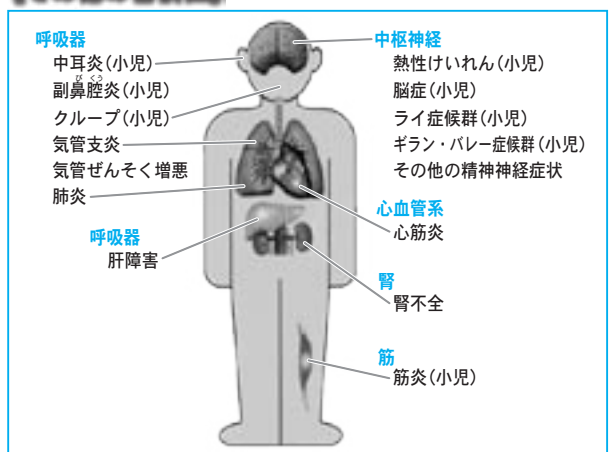
※抗インフルエンザ薬(増殖を抑える薬)は、予防にも効果があるといわれていますが、予防に使用する場合は自己負担(高額)となります。

【インフルエンザかな?と思ったときの対処方法】

①早めに医療機関等で受診する ②安静にして、睡眠を十分に取る ③水分を十分に補給する

※インフルエンザウイルスの増殖を抑える良い薬があります。発症から48時間(2日)以内の服用が効果的といわれていますので、受診が早ければ早いほど重症化を防ぐことができます。

【その他の合併症】



病院への上手なかかり方(その16)

村立東海病院院長 大場義幸

村消防署から、年間約1,000台の救急車が出動しています。そのうち、旧病院では年間100台ほどを受け入れていましたが、新病院では5月からの半年間で約170台の搬送を受け入れていきます。

■救急車の利用について

村立東海病院の救急搬送は、特に夕方5時以降が圧倒的に多く、当直の医師が1人のため、受け入れ要望に対してすべて対応することができず、お断りする場合があります。

救急患者とは、「生命の危険がある」「生命の危険がなくとも将来身体の機能障害を起こす可能性のある」と判断された患者だと思えます。では、「救急患者」と判断するのは誰でしょうか。患者様を目の前にした家族や救急隊員でしょうか、搬送先の医師でしょうか。救急の最終判断は医師ですが、現在の制度では明確でなく、救急に関しては制度上にも大きな問題があります。

時には、「熱があり、今日仕事があるから」という理由から、救急車を使用して早く診察してもらおうという患者様がいて、「えっ、救急患者なの?」と首をかしげなくなる人もいます。「救急車をタクシー代わりに使用するな!」と注意する医師もいますが、特殊なケースもあるので一概には言えません。現状では、医療機関や救急隊に聞いて、判断を仰ぐのが良いと思います。また、皆さんも最低限の医学の知識を持つことも大切なことです。

最近では、全国的に救急車搬送の有料化について議論され始めています。近い将来、救急車の搬送には、お金が掛かる時代が来るかもしれません。



◆問合せ 福祉部地域医療推進課(☎287-0899 電子メールtiiki-is@vill.tokai.ibaraki.jp)

平成19・20年度

入札参加資格審査申請受付

平成19・20年度東海村発注の建設工事、建設・設計・測量コンサルタントおよび物品調達等の入札参加資格審査の申請を受け付けます。

■**受付期間** 2月1日(木)～20日(火)(必着) ※土・日曜日、祝日を除きます。

■**受付時間** 午前9時～午後4時 ※正午から午後1時を除きます。

■**提出方法** 村内に本社、営業所または支店などを有する場合には、持参のみの受け付けとなります。それ以外の場合は、郵送のみの受け付けとなりますので、それぞれ該当する提出書類をそろえて提出してください。なお、郵送による場合は、後日受付票を郵送するため、提出書類のほかに返送用の定形封筒(社名・あて名を記入し、80円切手を張り付けたもの)を同封してください。



■**提出先** 持参/役場議会棟1階101会議室 郵送/企画総務部総務課財産管理室管財係

■**提出書類**

建設工事	建設・設計・測量コンサルタント	物品調達等
①一般(指名)競争入札参加資格審査申請書	①一般(指名)競争入札参加資格審査申請書	①物品調達入札参加資格審査申請書
②建設工事業者登録カード	②一般競争(指名競争)参加資格審査申請書(統一様式1-2,1-3)	②物品調達等業者登録カード
③経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書等の写し	③業態調書	③営業経歴書
④建設業許可証明書の写し	④設計業務等業者登録カード	④営業に関し許可・登録等を必要とするときは、これを証明する書類の写し
⑤工事経歴書(直前2年分)	⑤登録証明書の写し	⑤商業登記簿謄本の写し
⑥技術者経歴書	⑥測量等実績調書(直前2年分)	⑥使用印鑑届
⑦営業所一覧表	⑦技術者経歴書	⑦印鑑証明書の写し
⑧営業所等の状況調書(村内に本社または営業所等を有する場合)	⑧営業所一覧表	⑧委任状(代理人を設定する場合)
⑨建設工事入札参加資格調書(村内に本社を有する場合)	⑨使用印鑑届	⑨特約店または代理店であるときはこれを証明する書類の写し
⑩使用印鑑届	⑩印鑑証明書の写し	⑩直前事業年度の財務諸表(個人にあつては営業収支計算書)
⑪印鑑証明書の写し	⑪委任状(代理人を設定する場合)	⑪直前の納期到来分までの納税証明書の写し
⑫委任状(代理人を設定する場合)	⑫直前事業年度の財務諸表(個人にあつては営業収支計算書)	
⑬主要取引金融機関名一覧表	⑬主要取引金融機関名一覧表	
⑭建設業退職共済組合加入証明書の写し	⑭直前の納期到来分までの納税証明書の写し	
⑮直前の納期到来分までの納税証明書の写し		

※詳細については、企画総務部総務課財産管理室管財係で配布する各業種の「入札参加資格審査申請要項」を参考にしてください(東海村ホームページからもご覧になれます)。

■問 合 せ 企画総務部総務課財産管理室管財係(☎282-1711 内線1314)

東海村の貴重な文化財を紹介します

●村と県指定文化財が1件増えました

平成18年11月16日、村指定文化財の「絹本著色聖徳太子絵伝」(願船寺所有)が茨城県指定文化財に指定されました。今年度の県指定物件は6件で、そのうちの一つになります。

この絵は、室町時代のもと思われる、聖徳太子に関する出来事の中から4場面を取り出して1幅にしたもので、聖徳太子信仰の絵解きに用いられたものと考えられます。

村には、このほか県指定文化財が1件、村指定文化財が19件あり、一部は中央公民館に展示してありますので、ぜひご覧ください。

1月26日は「文化財防火デー」

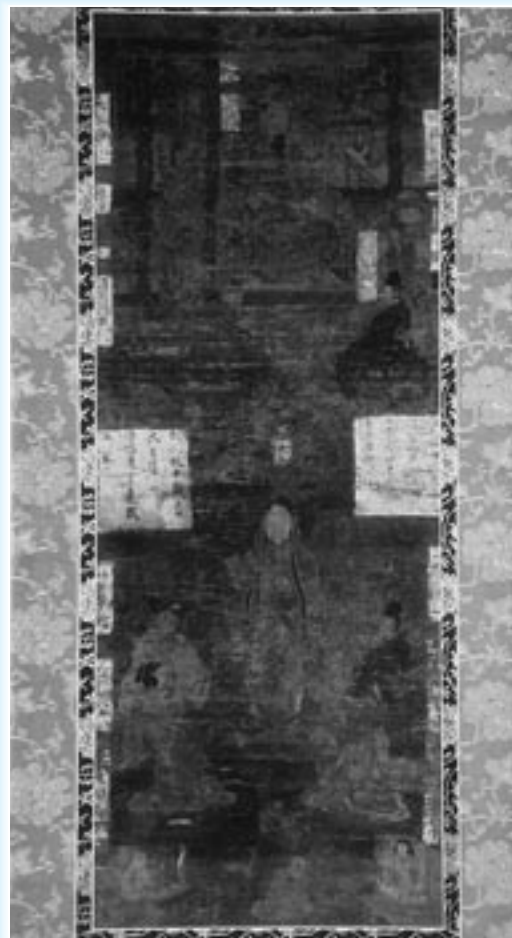
昭和24年1月26日は、現存する世界最古の木造建築である法隆寺金堂が炎上し、貴重な壁画が焼損した日です。このようなことが二度と起きないように、昭和30年、この日を文化財防火デーと定め、全国的に文化財防火運動を展開することとしました。文化財の防火のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

●村指定文化財

種別	名称	所在地
有形文化財	考古資料	直刀および三輪玉 船場768 (中央公民館)
		武人埴輪 船場768 (中央公民館)
		土偶 村松2304
		釜付遺跡出土遺物 船場768 (中央公民館)
歴史資料	常州埴田五所大神宮縁起・埴田神宮年中行事并未社記 白方662-1 (豊受皇大神宮)	
民俗文化財	有形	十王像および奪衣婆 照沼55-1 (如意輪寺)
		男女俗体坐像 照沼55-1 (如意輪寺)
		鐘馗霊神絵馬 村松8 (村松山虚空蔵堂)
		霊験木 村松8 (村松山虚空蔵堂)
史跡	権現山古墳 村松943-1・943-2	
	別当山古墳 石神外宿1208-1	
	水戸八景「村松晴嵐」の碑 村松135	
記念物	天然記念物	如意輪寺の常緑照葉樹 照沼54・57 (如意輪寺)
		願船寺のイチヨウ 石神外宿1047 (願船寺)
		住吉神社のサカキ 石神外宿1097 (住吉神社)
		エノキ 石神外宿429-2
		カヤ 須和間53-1
		モチノキ 石神内宿1427
ヤマザクラ 村松 943-1		

●県指定文化財

種別	名称	所在地
有形文化財	考古資料	人物埴輪 船場768 (中央公民館)
	絵画	絹本著色聖徳太子絵伝 石神外宿1047 (願船寺)



今回、県指定文化財に指定された「絹本著色聖徳太子絵伝」

●問合せ 教育委員会社会教育課文化・スポーツ振興係(☎282-1711 内線1423)



東海村おしゃれ工房の皆さん



●茨城県表彰受賞おめでとうございます

県勢の発展に貢献した方々をたたえる茨城県表彰が、県民の日の11月13日に県庁で行われ、村内では、増田貞次さん(元茨城県労働金庫理事長、元茨城県労働者福祉協議会会長代行)と東海村おしゃれ工房(伊藤朝子代表、会員数21人)が受賞しました。増田さんは、同金庫の経営健全化と経営基盤の確立に尽力するとともに、労働者の福祉に精励した功績が、おしゃれ工房は、障がい者や高齢者にファッション性を兼ね備えた使いやすい衣服・小物等を提供し、社会福祉の増進に寄与した功績が認められたものです。



増田さん



●ウォーキングを楽しみながら地元を再発見！

11月18日、真崎区自治会(黒羽根弘一自治会長、世帯数775世帯)による「地元付近地散策ウォーキング」が真崎コミュニティセンターを発着点として実施されました。これは、いきいき地域活力助成事業の一環として行われ、「自分の健康は自分で築きましょう」と黒羽根会長のあいさつ後、約100人の参加者により早速スタート。真崎古墳群や真崎城跡など、地元の歴史に詳しい須藤佐武さんの説明を聞きながら、心地よい汗を流した参加者は、「近くにこんなところがあったなんて…」など、地元を再発見したようです。

●東海村社会福祉協議会が発足50周年

11月30日、社会福祉に対する理解と地域福祉の推進を目的として、「東海村社会福祉協議会設立50周年記念社会福祉大会」が東海文化センターで開催されました。式典では、多年にわたり福祉の発展に功績のあった民生委員・児童委員の方など133人、各種ボランティア団体など73団体が表彰されました。続いて「夫のかわりはおりまへん」を演題に、前高槻市長の江村利雄さんが、介護をしていく中で実感されたことをテンポ良く、ユーモアたっぷりに講演。会場ではうなずく姿が見られるとともに、笑い声に包まれていました。



●子どもたちの笑顔や成長を見守り続けます

平成18年度ボランティア功労者に対する「厚生労働大臣表彰」を、つくしボランティア(大内由美子代表、会員数13人)が受賞しました。これは、未就学児童の健全育成と、その保護者の情報交換や交流の場づくりを目的として同会を結成して以来、26年間にわたって、障がいを持つ乳幼児の療育支援などに尽力してきたボランティア活動が認められたもの。会員の皆さんは、「これからも、子どもたちの笑顔や成長を見守り続けるために、無理なく楽しく活動していきたいと思っています」と笑顔で抱負を話してくれました。



●ごみのないきれいな村にしましょう!

11月19日、「東海村秋のクリーン作戦」が、東海ライオンズクラブ(中村康雄会長)と村との共催により、久慈川河口周辺をはじめ村内各所で実施されました。これは、「ごみゼロの村」を目指す環境美化運動の一環として毎年行われているもの。約2,000人の参加者により、午前7時から清掃活動が始められ、心無い人によって投げ捨てられた空き缶やペットボトルなど、この日集められたごみの量は約2.2トン。ごみのないきれいな村にするため、春と秋に行われるこのクリーン作戦に皆さんも積極的にご参加ください。

●幸せに楽しく生きる権利があります!

12月4日から10日までの人権週間にちなみ、「いじめ」などが起きないように、人を思いやる心をはぐくむことを目的として、12月7日、人権啓発活動が村松小学校で実施されました。村の人権擁護委員長の石井勉さんは「すべての人は幸せに楽しく生きる権利があります。家族で“人権”について話し合ってください」と児童たちに呼び掛け、児童代表の井之上司くんへ啓発物を手渡しました。なお、村内各幼稚園、保育所、小・中学校へも啓発物を配布し、子どもたちに人権の大切さについて理解を深めてもらいました。



●温かな笑顔広がる“ふれあいフェスタ”

11月25日、「2006ふれあいフェスタinさちのみ」が東海文化センターで行われました。これは、知的障害者更生施設「幸の実園」の入所者と地域住民との交流を図ることを目的としたもの。会場では、幸の実園編集の詩画集「あなたのお母さんでよかった」の朗読会に続いて、「上を向いて歩こう」を歌った歌手、故坂本九さんの長女・大島花子さんによるコンサートを開催。来場者とともに、「見上げてごらん夜の星を」や「翼をください」、「夕焼け小焼け」を歌うなど、一体感に包まれた会場には、温かな笑顔が広がりました。

文芸とうかい

【俳句】

さまざまな思いのよぎる十二月

舟石川 舛井 愛子

この寒さ耐える思考のゆきもどり

白方中央 柴田 一声

竹林に強風吹き荒れ冬に入る

舟石川 佐藤 とよ

冬至梅小枝に咲ける白き花

豊 白 中島エミ子

御殿山土けちらして下る品川の宿

村 松 正木 幹夫

まなうらにふる里の山寝酒くむ

南 台 渋谷ひろし

鮫鱈の切られ残りの口となる

村 松 松本 正勝

錦織る山並めざし今日もまた

外 宿 西山 純一

再びの星流れたる師走かな

白方中央 根本 怜子

新たまの年来たれり志も新た

白方中央 根本 武

【短歌】

紅葉のまぶしくなりし袋田の山にひびきて水音
聞ゆ 舟石川 小川志つ江

神様のお言葉み訓忘れずにノートに記し長く守
りぬ 船 場 中井川しげ

指導者からのメッセージ

少年育成
育体験記
PART. 82



「母と子のサロン」にかかわって

「母と子のサロン」実行委員長

須和間 鈴木 朝美

先日、平成18年度前期、後期の各5回にわたる「母と子のサロン」が終了しました。私たち実行委員12人は、青少年育成東海村民会議の支援の下、毎回、各15組の赤ちゃんとお母さんが楽しいひとときを過ごし、少しでも子育てを楽しめるようにと、実行委員自身も勉強しながら行ってきました。近年、核家族の増加、地域との交流も薄い状況において、子育てでも大変になってきているのが現状です。そこで、「赤ちゃん

と2人だけ」情報はいっぱいだが実際の経験が少ない「不安だけど、どうすればいいのか分からない」など、このようなお母さん方に少しでも子育てが楽しくできるようサポートしていきたいとの願いから、実行委員が一緒に楽しみながら行っているのが「母と子のサロン」です。サロンでは毎回、「赤ちゃんとの手遊び・歌遊び、絵本や紙芝居の読み聞かせ」など、日ごろ、家でも楽しめることを行っています。また、お母さん同士の交流の場として、「ティーツム」を設けており、日常的な悩みや情報を交換することで、お母さん同士のつながりを強めてもらっています。

「母と子のサロン」は、専門家による運営ではありません。今まで子育てをしてきた先輩ママとしての立場から、赤ちゃんやお母さん方と接しています。「教える」「指導する」というのではなく、お母さん方と子育てについて共感するとともに、子育てに少しでも力になれたらとの思いから、実行委員は、常に笑顔を絶やさずに接しています。

今年度で19年という、長い歴史を持つ「母と子のサロン」です。これからも、実行委員一同、楽しみながら赤ちゃんやお母さん方とかかわっていかれたらと思っています。また、実行委員には誰でもなれますので、皆さんのご一報をお待ちしています。

まち並も紅葉に染まり変りゆく悠久のとき止まることなし

船場 村上より子
ゆず大根ゆず味噌などに柚子刻むわが家のくり
やは柚子の香満つる

外宿 小林美代子
紅葉の木立明るき三井寺の二百余段の石段のぼる

村松 桜井 秀子
何事も本音で語れる友ありて楽しき日々の暮し
多かり

村松 高橋 正弘
長月も中日すぎればすでにして冬紅葉せり産土
の庭

内宿 村上 文江
霜枯れて黒づみおりしわが庭にひときは燃える
どうだんつじ

外宿 高槌 すみ
休耕の田に立ち枯れし芒の穂日の差したれば華
やぎて見ゆ

村松北 黒澤 孝子
三年間健康保険使わぬと感謝状受くわれ九回目
舟石川 工藤和一郎

冬の日に照りつつ一面輝きて青き甘藍満ちるる
畑

舟石川 舛井 昭恵
昨年は子どもの受難多かりきあらたな年に安穩
祈る

南台 根本内俊男
師走なかお元気ですかと独り身の支援はげまし
弁当配る

照沼 佐藤 昇
風寒きもみじ通りは葉の落ちて冬至近きか日足
短かし

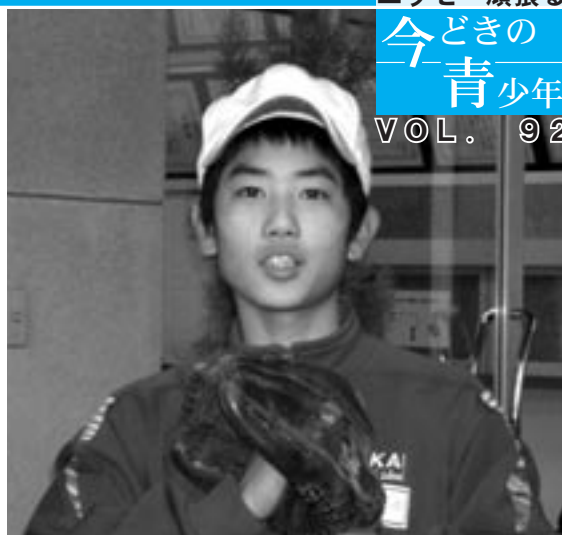
船場 舛井庫之助
鮮やかな紅に咲きたる大文字色うすれて冬の
訪る

【川柳】

あけまして今年もやっぱり寝てました

白方中央 関口 満

エッセー 頑張る
今どきの
青少年
VOL. 92



これまでを振り返ってみて

東海中学校2年

石神外宿 照沼 拓也

僕たちの野球部は、現在、29人の部員で活動しています。夏の練習では雑なプレーが多くて、練習試合でもなかなか勝つことができませんでした。それでも、一人一人が勝つことへの意識を持って、あきらめずに練習してきました。

その結果、秋の新人戦の那珂地区大会で、接戦が続いた末、粘り強いプレーで勝利をつかむことができ、中央地区大会出場という、今まで成し遂げられなかった長い間の

目標を達成することができました。特に那珂地区大会の3位決定戦では、先輩方からの絶大な声援がありました。「頑張れよ」「締まっていけよ」など、その一言一言に、先輩方の熱い思いが込められていることを感じた試合でした。

また、秋に行われた東海近郊大会では、見事栄光の座を勝ち取りました。しっかりと守り、ワンチャンスを生かすゲーム運びができ、部員29人が一丸となつてつかんだ優勝です。

今の僕たちは、着実にそして確実にレベルアップしていると感じていきます。しかし、まだまだ、中央地区大会などから比べると力不足なので、さらに努力していきたいと思っています。これからの冬の練習では、個人個人が、目標を立て、自分たちが求めている「確実に勝てる力」を付けたいと思います。そのためには、常に自分自身との勝負になります。29人が1人も欠けることなく頑張っていきたいと思っています。

そして、来年の夏に行われる総合体育大会では、それまでの練習の成果として、自分たちが持っている力をすべて出し切り、さらに、先生方や応援していただいている方々に感謝の気持ちを込めながら戦い続けることで県大会に駒を進め、東海中野球部の歴史に名を刻みたいと思います。

第19回アートロード展

美術愛好家97人が、前期(2月4日から10日まで)絵画・彫刻展・後期(2月11日から17日まで)書・写真展の2部構成で発表します。村内26店舗の協賛店も含め、暮らしの中の美術館をお楽しみください。



※2月10日(土)・17日(土)は午後3時で閉館

2月4日(日)～17日(土)

■開館時間

午前10時～午後7時

STATION GALLERY

art POCKET laboratory KONPEITOU展



art POCKET laboratoryでイラストレーションを学ぶ15人の作品展です。それぞれがさまざまな画材や技法で、独自の表現を模索・試行しています。楽しい展覧会にしたいと思いますので、ぜひご来場ください。

※最終日は午後3時で閉館

1月21日(日)～2月3日(土)

廣原収入役が任期満了退任



前東海村収入役

廣原 宗厚

(照沼 64歳)

退任のごあいさつ

このたび、任期満了により昨年の12月末日をもって、東海村収入役を退任いたしました。平成11年の就任以来、今日までお寄せいただいた村民の皆様および各界の方々のご厚情に対し、心からお礼申し上げます。

顧みますと、8年間の任期中、本村の会計機関を預かる者として、公金の取り扱いについては常に厳正に対処し、金銭事故もなく無事任期を終えることができましたのは、ひとえに皆様のご指導の賜物と深く感謝いたし、あらためて厚くお礼申し上げます。

平成19年4月1日から、地方自治法の改正に伴い収入役制度は無くなりますが、本村の会計機関は存続しますので、今まで同様のご支援とご協力をいただければ幸いに存じます。また、私は、退任後は村民の一員として、東海村発展のために声援を送り続けていきたいと思っております。

最後に、村民の皆様のますますのご健勝を心から念じて、退任のごあいさつといたします。

傍 聴 席

平成18年第4回東海村議会定例会が、12月4日から18日までの会期で行われました。今回の定例会の主な内容は、次の通りです。なお、傍聴者数は、56人でした。

村長提出議案

①水道事業給水条例の一部を改正する条例など条例関連9件、②平成18年度東海村一般会計補正予算(第3号)など予算関連6件、③財産取得に関し議決を求めることについてなどその他7件、合計21件が上程され、すべて可決されました。

委員会報告

①脳脊髄液減少症の研究・治療等の推進を求める意見書②障害者福祉充実に関する意見書③社会福祉協議会問題調査報告書——の3件は、可決されました。なお、④日本原電東海第二発電所の可燃性ガス濃度御系流量の数値不正問題に対する意見書は、否決となりました。

請 願

①安全・安心の地域医療を実現するための医師・看護師の大幅増員を求める請願書は、文教厚生委員会に、②住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める請願書は、総務委員会に付託されました。なお、③上水道料金の引き上げをおさえ村民生活を守る請願書は、水道事業給水条例が可決されたことにより、審議未了となりました。

問 合 せ

議会事務局(☎282-1711 内線1281 議会ホームページ<http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/gikai/>)

図書館トピックス

「絵本リスト付きの本」コーナーを新設！

「子どもに絵本を読んであげたいけれど、どんな本があるのか、どれを選べばいいのか分からない」と、お困りの方も多いと思います。そんなときに、「絵本リスト付きの本」で探してみたいかがでしょうか。子どもの年齢やテーマ別に分かれて絵本を紹介していますので、読みたい絵本がすぐに見つかります。

お話しコーナーの脇に設置しましたので、ぜひお子さんと一緒に、読みたい絵本を探してみてください。



ホームページが一時ご利用できなくなります

資料の貸し出し・返却や資料全般の管理を行っている図書館システムのプログラムを改訂するため、その作業に伴い、システムと連動している図書館ホームページが一時ご利用できなくなります。作業を行っている間は、本や資料の検索・予約などができませんので、ご注意ください。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▼日 時 1月22日(月) 午前9時～午後2時

郷土関連の本を紹介します

図書館では、東海村や茨城県など郷土に関する資料を収集しています。地域の歴史から観光・グルメガイドブック、郷土出身者のエッセーなど、幅広く所蔵していますので、ぜひご覧ください。

今回は、ここ数年の間に出版された資料の一部を紹介いたします。

『いばらきお風呂天国』

茨城新聞社

『続いばらきじゃなくこいばらき』

青木智也著／茨城新聞社

『茨城の史跡と天然記念物』

山崎睦男、高根信和著／茨城新聞社

『いばらきわくわくシニアーズ』

茨城放送

『オーストラリアからの手紙』 堀木歐一郎著

『子どもとでかける茨城あそび場ガイド』

2006年版

子育てサークルwe・net著／メイツ出版

『横山大観の世界』 横山大観著／美術年鑑社

『笑いのツボ押します』 □ーカル岡著／扶桑社

「たんぽぽの会」によるおはなし会

期 日 毎週土曜日(第5土曜日を除く)
時 間 午後2時～3時
場 所 おはなしコーナー
内 容 絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行います。

休館日

1月15日(月)・22日(月)
29日(月)・31日(水)
2月5日(月)

国民年金 現況確認の方法がだより 変わります



現況届の提出が原則不要となります

これまで、国民年金を受給している方の現況確認については、年1回、はがきによる現況届を提出していただく方法で行ってききましたが、平成18年度からは、12月を誕生日とする方から順次、住民基本台帳ネットワークシステムを活用して現況確認を行うこととなりました。これにより、現況届の提出が原則不要となります。

なお、誕生月の前月末ごろに社会保険業務センターから、現況届の提出が不要となる旨のお知らせを送付していますので、ご確認をお願いします。

現況届などの提出が必要となる場合があります

次の方については、これまでどおり誕生月の前月に社会保険業務センターから現況届、または別途届け書が送付されますので、それぞれ、期限日までに提出が必要となります。

- ① 社会保険庁が管理している年金受給者の基本情報(住所、氏名、生年月日、性別)が、住民基本台帳と相違している方
- ② 日本国外の国籍を有する(外国人登録)方
- ③ 日本国外に住所を有する方
- ④ 加給年金額等が加算されている方
- ⑤ 障害の程度を確認する必要がある方

問合せ

福祉部保健年金課国保年金係(☎282局1711
内線1133)

人口と世帯数

平成 18 年 12 月 1 日現在		
前月比		
世帯数	13,293 世帯	+ 2
総人口	35,940 人	- 5
男	18,044 人	- 1
女	17,896 人	- 4

役場の電話番号

☎ 282-1711 (代表)

1・10号/お知らせ



東海村臨時職員募集

村では、平成19年4月からおおむね1年間の雇用となる臨時職員を募集します。

■職種等

職種	要件・募集人員	試験日
保育所保育士	保育士の資格を有する方(15人)	2月18日(日)
すこやかハウス保育士	保育士の資格を有する方(3人) ※在宅家庭親子の支援が主な業務です。	
保育所調理手	調理師の資格を有する方(3人)	
幼稚園講師	幼稚園教諭の資格を有する方(12人)	
幼稚園介助員	幼稚園教諭の資格を有する方(若干名)	

■選考方法 **保育所保育士、すこやかハウス保育士、幼稚園講師**…面接試験、作文の提出(自筆で800字程度) **保育所調理手、幼稚園介助員**…面接試験

■作文課題 **保育所保育士、すこやかハウス保育士**…「私の保育観」 **幼稚園講師**…「幼児教育への抱負」

■賃金 **保育所保育士、すこやかハウス保育士、幼稚園講師、幼稚園介助員**…1,020円/時～1,060円/時 **保育所調理手**…860円/時

■勤務時間 **保育所保育士・幼稚園講師**…1週40時間 **すこやかハウス保育士**…1週25時間 **保育所調理手**…1週20時間または1週30時間 **幼稚園介助員**…1週27時間

■その他 **諸手当**…通勤手当 **福利厚生**…社会保険・雇用保険 ※すこやかハウス保育士、保育所調理手(1週20時間勤務)、幼稚園介助員は雇用保険のみ **休暇**…土・日曜日、祝日を基本、年次休暇有り

■申し込み・問合せ 1月29日(月)まで(土・日曜日を除く)の午前8時30分から午後5時15分までに①履歴書(写真を張り付けたもの)②受験資格に必要な資格免許の写し③作文(該当者のみ)——を用意した上で、保育所保育士、すこやかハウス保育士、保育所調理手は福祉部社会福祉課児童福祉係(内線1165)へ、幼稚園講師、幼稚園介助員は教育委員会学校教育課学校教育係(内線1413)へ申し込みください。

募集

小学校専科指導員(音楽担当)および小・中学校生活指導員募集

■雇用期間 平成19年4月1日からおおむね1年間
■試験日 2月18日(日)

■募集人員 **小学校専科指導員(音楽担当)**…1人 **小・中学校生活指導員(保育士、幼稚園教諭、小・中学校教諭のいずれかの資格を有する方など)**…14人

■内容 **小学校専科指導員(音楽担当)**…村内の小学校を巡回して、担任とチームティーチングによる音楽指導 **小・中学校生活指導員**…個別的なかかわりを必要とする児童・生徒への支援活動等

■選考方法 面接試験

■勤務時間 1日6時間(月曜日～金曜日)

■申し込み・問合せ 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、2月2日(金)まで(土・日曜日を除く)の午前8時30分から午後5時15分までに、教育委員会学校教育課学校教育係(内線1413)へ申し込みください。

参加費
無料

家族介護者交流会参加者募集

在宅で高齢者や認知症、障がい者などの介護をしている方を対象に交流会を開催します。

■期 日 2月17日(土)

■時 間 午前8時30分～午後4時

■場 所 袋田の滝、袋田温泉思い出浪漫館(久慈郡大子町袋田978)

■定 員 先着60人

■その他 ①家族介護教室(紙おむつの選び方と上手な当て方)も実施します。②各コミュニティセンター等を送迎バスが巡回します。③入浴施設が利用できますので、タオル等をご持参ください。

■申し込み・問合せ 2月9日(金)までに、社会福祉協議会(☎282-2804)へ申し込みください。

参加費
500円/人

男の生活工房「父子でパン作り講座」参加者募集

- 期 日 1月27日(土)
- 時 間 午前9時30分～午後0時30分
- 場 所 中丸コミュニティセンター
- 対 象 村内在住の小・中学生とその父親(先着15組) ※小・中学生は1人
- そ の 他 エプロン、筆記用具をご持参ください。
- 申し込み・問合せ 1月15日(月)までに、企画総務部自治推進課ハーモニー・交流係(内線1343)へ申し込みください。

1月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
問 合 せ	救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)	
期 日	病医院名	電話番号
14日(日)	石井整形外科クリニック	270-5141
21日(日)	村立東海病院	282-2188
28日(日)	東原クリニック	283-2301

参加費
無 料

男性のための食生活講座参加者募集

- 期 日 2月3日(土)
- 時 間 午前9時～午後2時
- 場 所 中央公民館
- 対 象 村内在住・在勤の男性(先着40人)
- 内 容 健康に関する講話、簡単な調理実習
- 申し込み・問合せ 1月25日(木)までに、東海村食生活改善推進員連絡協議会事務局(保健センター内 ☎282-2797)へ申し込みください。

参加費
2,000円/人

東海村総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会事業

東海村総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会では、「ストレスなんてぶっ飛ばせ～楽しみながら運動してやせよう～」の参加者を募集します。

- 日 時 2月6日(火)・9日(金)・13日(火)・16日(金) 午前10時～正午
- 場 所 総合体育館
- 対 象 村内在住・在勤の18歳以上の女性
- 定 員 先着30人
- 内 容 ①ダンス(バンブーダンス、フォークダンス、エアロビクスダンス)②ゲーム(フライングディスク、ボール送り、伝承遊び)③トレーニング(バランスボールを用いたトレーニング)——の内容を取り入れ、楽しく運動します。
- そ の 他 運動のできる服装、体育館シューズをご用意ください。
- 申し込み・問合せ 1月12日(金)から27日(土)までに、参加費を添えて総合体育館(☎283-0673)へ申し込みください。

参加費
2,000円/人

第2回初・中級者テニス教室参加者募集

- 期 日 1月27日(土)・28日(日)、2月3日(土)・4日(日)・10日(土)・11日(日)
- 時 間 午前11時～午後1時
- 場 所 村テニスコート
- 対 象 中学生以上の村内在住・在勤・在学の方および東海村テニス連盟登録者、またはそれら参加資格を満たす方の同居家族
- 定 員 50人
- そ の 他 ボールはテニス連盟で用意します。
- 申し込み 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、1月20日(土)までに、テニスコートクラブハウスへ申し込みください。
- 問 合 せ 岸本克己さん(☎090-7421-4679)

参加費
無 料

東海自由空間vol.6～あなたも私も出演者～出演者募集

3月4日(日)に開催予定の「民族楽器の響き」をテーマとしたフリーステージ形式の発表会への出演者を募集します。

- 対 象 ①村内および周辺地域に在住の個人およびグループで、2月18日(日)のリハーサルに参加可能②10分以内で、上記のテーマおよび指定するステージ条件に合う形態での演奏・演技・パフォーマンスが可能——を満たす方(15組程度) ※応募者多数の場合は抽選となります。
- そ の 他 ①参加組数が5組未滿の場合は、中止となることがあります。②ステージ条件についての詳細は、お問い合わせください。
- 申し込み・問合せ 所定の申込書に必要事項を記入の上、1月16日(火)までに、(財)東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)へ申し込みください。

平成18年度東海村家庭婦人卓球大会参加者募集

- 日 時 2月2日(金) 午前9時から
- 場 所 総合体育館
- 種 目 等 ダブルス(Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部)
- 参 加 費 400円/人 ※村連盟未登録者は600円/人
- そ の 他 パートナーは抽選で決定します。
- 申し込み 総合体育館備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、1月19日(金)までに、ファクシミリ(FAX282-3929)で申し込むか、総合体育館の申込箱に入れてください。
- 問 合 せ 大森對子さん(☎282-3929)



「みんなですこやかウォーキング」開催

- ウォーキングで自由に楽しんでみませんか。
- 日 時 1月24日(水)、2月21日(水)、3月14日(水) 午前10時～11時30分
 - コース 総合福祉センター「絆」を周回するコース(約5km)
 - 対象者 村内在住の方
 - その他 ①当日、午前9時30分から総合福祉センター「絆」正面入り口前で受け付けしてください。②飲み物、タオルをご持参ください。
 - 問合せ 保健センター(☎282-2797)

家族交流会を開催します

- 期 日 1月19日(金)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 舟石川コミュニティセンター
- 対 象 村内在住で、家庭に心の病気を持つ方がいる家族
- 内 容 懇談、意見交換
- 費 用 無料
- 申し込み・問合せ 福祉部社会福祉課障がい福祉係(内線1136)

企画展示「日本とロシアの文化」 マトリョーシカの魅力とロシアの伝統工芸

日ソ共同宣言署名から50周年を迎え、両国の友好を記念してロシアの民芸品「サモワール・ジョストバ・マトリョーシカ」や民族衣装、絵本などを展示します。ロシアの多彩な手工芸品を鑑賞するとともに、マトリョーシカと日本の意外な関係など、歴史や文化を知ることができますので、お気軽にお越しください。

- 期 間 1月15日(月)～31日(水) 午前9時～午後9時 ※日曜日は休館となります。
- 場 所 東海村姉妹都市交流会館
- 問 合 せ 東海村姉妹都市交流会館(☎282-0535)

住民検診の未受診者検診について

村では、昨年実施した総合検診や住民検診を受診していない方を対象に、「未受診者検診」を実施します。また、新たに転入された方も受診可能ですので、事前にお問い合わせいただければ、受診券を発行いたします。なお、大腸がん検診も同時に行いますので、未受診の方は、当日、容器を提出してください。

- 期 日 1月18日(木)・19日(金)
- 時 間 午前9時30分～11時、午後1時30分～3時
- 場 所 保健センター
- 内 容 等

検診名	内容	対象者
結核・肺がん検診	胸部エックス線間接撮影	40歳以上の希望者
成人病検診	血圧、血液、尿、心電図等	18歳以上の希望者
肝炎ウイルス検査	血液検査	
前立腺検診	血液検査	50歳以上79歳以下の希望者
大腸がん検診	便潜血検査(2日法)	40歳以上の希望者

- 問 合 せ 保健センター(☎282-2797)



「もったいないバザー」出展者募集

- 日 時 2月24日(土) 正午～午後3時
- 場 所 総合体育館
- 対 象 村内在住の方
- 出 展 品 家庭内で不用になった物品(食糧品は除きます)
- 売り場面積 6平方メートル
- 申し込み・問合せ 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、1月24日(水)までに、とうかい環境フォーラム実行委員会事務局(経済環境部環境政策課環境計画推進係 内線1453)へ申し込みください。



聴覚障害者向けの普通救命講習会参加者募集

- 日 時 1月27日(土) 午前9時～正午
- 場 所 消防庁舎(会議室)
- 内 容 心肺蘇生法、AED取り扱いなど ※手話を交えた実技主体の講習会です。
- 定 員 先着20人(実施人員5人以上)
- そ の 他 ①動きやすい服装で参加してください。②普通救命講習修了証を交付します。③保育サービス(無料)がありますので、1月19日(金)までに申し込みください。
- 申し込み・問合せ 1月25日(木)までに、消防署救急救助係(☎282-2038)へ申し込みください。

エトセトラ

ひとり親家庭のお子さんに入学祝い品を差し上げます

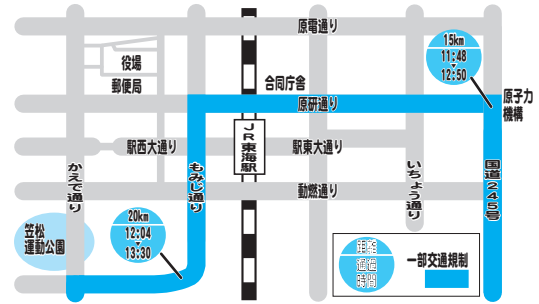
茨城県母子寡婦福祉連合会では、4月に小学校へ入学するひとり親家庭の子どもを対象に、入学祝い品(学用品類)を差し上げます。

- 申し込み・問合せ 1月31日(水)までに、福祉部社会福祉課地域福祉係(内線1167)へ申し込みください。

第55回勝田全国マラソン大会に伴う交通規制

1月28日(日)、勝田全国マラソン大会の開催に伴い、村内の道路を選手が通過します。選手が通過する時間帯は、交通規制が実施されますので、皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願ひします。

- 期 日 1月28日(日)
- 時 間 午前11時スタート
- 問 合 せ 勝田全国マラソン大会事務局
(ひたちなか市教育委員会体育課内 ☎275-7752)



となりのまちから イベントガイド

笠間市 ● あたご天狗の森スカイロッジ

スカイロッジは、愛宕山の頂上付近にあるログハウスの宿泊施設です。4人用から6人用、12人用の宿泊棟があり、それぞれ冷暖房、バス、トイレなどを完備しています。また、バーベキュー施設や展望デッキなども設置されており、晴れた日には太平洋を一望することができます。

◆料 金 4人用ログハウス…16,800円 6人用ログハウス…25,200円 12人用ログハウス…42,000円 バーベキュー施設…2,550円 (宿泊の方のバーベキュー施設利用は12人用ログハウス1棟につき2か所、4人用・6人用ログハウス各1棟につき1か所まで無料となります。)

◆問 合 せ スカイロッジ管理事務所(☎0299-45-6622)

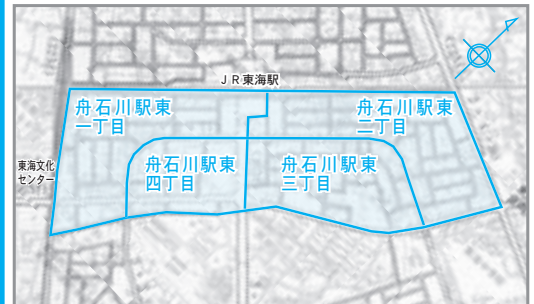
城里町 ● 「ふれあいの里」・「うぐいすの里」・「山びこの郷」

野外活動センター「ふれあいの里」・「うぐいすの里」・「山びこの郷」では、キャンプ場をはじめ、広々としたキャビンなどの宿泊施設があります。また、「ふれあいの里」には400ミリ反射望遠鏡を備える天文台、「うぐいすの里」には広いグラウンドや大きなプール、長い滑り台、「山びこの郷」にはそばやうどん、こんにゃくの手作り体験や、陶芸体験ができる施設があり、子どもから大人まで満喫できる施設が充実しています。ぜひ、ご利用ください。

◆申し込み・問合せ 2月1日(木)から、平成19年度の予約を受け付けますので、ご利用の際には、「ふれあいの里」管理事務所(☎288-5505)、「うぐいすの里」管理事務所(☎289-4321)、「山びこの郷」管理事務所(☎0296-88-3157)へ申し込みください。

住居表示実施に伴う字の区域および名称変更の公告について

平成19年11月の実施予定に伴い、住居表示事業を地図青枠線内において、同地区の字の区域および名称の変更(案)を2月2日(金)まで、役場庁舎掲示板で公告しています。この案に異議があるときは、この地区に在住し、選挙権を有している方に限り、公告期間内に変更請求をすることができます。



◆問 合 せ 福祉部住民課住民係(内線1125)

グランドピアノを弾いてみませんか?

東海文化センターでは、グランドピアノ(ヤマハCF III-S)を無料開放します。

■利用可能日 1月16日(火)・19日(金)・24日(水)、2月12日(月)・20日(火)・23日(金)、3月9日(金)、23日(金)・28日(水)

■利用時間 午後1時～8時 ※2月12日(月)は午前10時から午後5時まで、3月23日(金)・28日(水)は午前10時から午後8時までとなります。

■場 所 東海文化センター
■対 象 村内在住・在勤・在学の方

■使用料 無料
■申し込み・問合せ 1月13日(土)の午前9時から(財)東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)窓口で受け付けます。なお、空きがある場合のみ、同日、午後1時から電話でも受け付けます。



大きな飛行機

保育園の卒園遠足で行った成田空港で、飛行機を見ている様子を描いてくれた幸村くん(6歳)。

「大きな飛行機が空を飛んでいて、すごく格好良かった。ほくも乗ってみたい!」と笑顔で話してくれました。

ぼくの夢 Dream-70 わたしの夢



夢は…。 “ドッグブリーダー”

石神小学校6年 ● 中村泉香

私の将来の夢は、ドッグブリーダーになることです。私がそう思ったのは、犬を飼い始めることからです。もともと、犬が大好きということもあって、犬を飼うために犬について調べたとき、いろいろな形や色、性格の犬がいるということを知り、「将来はドッグブリーダーになって、いろいろな犬に出会いたい」と強く感じました。

その後、ドッグブリーダーについて調べました。ブリーダーとは、犬の健康管理を行い、より良い犬を育て、繁殖させる人です。ブリーダーをしている人は「ブリーダーになるのは簡単。でも、犬にできる限りのことをしてあげなければならないから大変」と言います。「大変でも、私は将来ドッグブリーダーになりたい」。そして、いろいろな犬と出会えたらいいなと思っています。

— この20年間で印象に残っていることをお聞かせください。 —
5歳から始めた空手で、高校3年生のとき、インターハイへの出場権を得たこと、「A-U高校生外交官国際交流プログラム」で茨城県代表としてアメリカに留学したこと、そして、今回の、成人の集い、がなんと自分の誕生日だったことです。

— 成人を迎えて、どのような感想をお持ちですか? —
「もう20歳なの!?」という感じですが、まだ先だと思っていました。人生の節目を迎え、責任感を持ち、いろいろな面で、大人にならなければならぬと思います。

— 自己紹介をお願いします。 —
現在、茨城キリスト教大学文学部現代英語学科の2年生です。幼いころから英語が好きで大学での英語漬けの生活をとても楽しんでいます。趣味は音楽鑑賞で、特に60年代の洋楽が大好きです。

— 両親に一言、お願いします。 —
今まで育ててくれて、本当にありがとうございます。20年間さまざまな出来事がありました。今ではどれもすてきな思い出です。今後とも見守っていてください。 — 自分の性格を分析すると? —
人を楽ませることが好きで、明るく前向きな性格です。初対面の人でも、すぐに話ができます。負けず嫌いという面もあるかな。

— 今後の活躍を期待しています。ありがとうございます。 —

成人の日記念 インタビュー
表紙の「ひと」
おひなたさゆり
大日向沙友里さん
想をお持ちですか?
Tokai TV